

令和3年度

教育委員会の事務の管理及び  
執行状況に係る点検・評価報告書

野田村教育委員会

## —目 次—

○はじめに	1
○「野田の教育」における主な取り組みと点検評価	2
○学校教育行政の成果と課題	4
○生涯学習文化行政の成果と課題	11
○生涯スポーツ行政の成果と課題	18

はじめに

野田村では、毎年度「野田の教育」を作成・刊行し、当該年度の方針と計画を定めています。

この報告書は、「野田の教育」で定めた計画等がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の令和3年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定める点検・評価結果の報告書となるものです。

#### 報告書の構成

この報告書は、次の2つの事項で構成しています。

- ① 「野田の教育」における主な取り組みと点検評価に関するもの
- ② 教育委員会の会議及び主な活動状況を取りまとめたもの

「野田の教育」における主な取り組みと点検評価

項目	評価	担当
学校教育行政の方針と計画		
1 学習指導の充実	○	学 校 教 育 班
2 生徒指導の充実	○	
3 教員の指導力向上	○	
4 児童生徒の心のケア	○	
5 復興教育の推進	△	
6 その他の事業等	○	
(1) 小中学校長会議の開催		
(2) 国際理解教育の充実		
(3) 食育出前教室の開催		
(4) 就学指導委員会の開催		
(5) 特別支援教育支援員研修会の開催		
(6) 村内教育相談の実施		
(7) 指導主事による学校訪問指導の実施		
生涯学習文化行政の方針		
1 生涯学習社会の形成	△	生 涯 学 習 文 化 班
(1) 推進体制の充実		
(2) 指導体制等の充実		
(3) 普及・啓発活動の充実		
2 青少年の健全育成	○	
(1) 家庭教育の支援		
(2) 生涯各時期における学習活動の支援		
(3) 学校と地域の協働推進支援		
3 芸術文化の振興	○	
(1) 芸術文化活動の振興と環境整備		
(2) 文化財の保護		
生涯スポーツ行政の方針		
1 生涯スポーツ推進体制の整備・充実	○	生 涯 ス ポ ー ツ 班
(1) 推進体制の整備・充実		
(2) 情報及び広報活動の推進		
2 スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活動促進	△	
(1) スポーツ推進委員の研修と活動促進		
(2) 地域指導者の養成と活動促進		

項目	評価	担当
3 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進	△	
(1) 野田村民体育大会の開催		
(2) スポーツ・レクリエーション大会の開催		
(3) 悠 YOU スポーツクラブの育成と活動助成		
(4) 体育協会の組織強化と自立支援及び主体的な活動促進		
(5) スポーツ少年団の活動促進と自立支援		
4 体育施設の整備と活用促進	○	生涯スポーツ班
(1) 体育施設の整備		
(2) 体育施設の利活用促進		
(3) 体育施設の適切な管理運営		
(4) 学校体育施設の開放と利用促進		
5 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会及びホストタウン活動の推進	○	
(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成		
(2) 聖火リレー・聖火フェスティバルの実施、機運醸成		
(3) 台湾陸上協会、彰化市等との交流継続		
(4) 村民の台湾理解の促進		
<p><b>【評価】</b></p> <p>◎（達成）：優れた取り組みや状況等が見られ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。</p> <p>○（概ね達成）：良い取り組みや状況等が見られ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。</p> <p>△（やや達成が困難）：課題は少なからずあり、目標達成がやや順調ではない又は一定の成果があったが新たな課題が生じた。</p> <p>×（達成が困難）：課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんどの成果が上がらないなど目標がほとんど達成できなかった。</p>		

# 1 学校教育行政の実施状況

令和3年度 学校教育行政の成果と課題

4月事業報告分（教育委員会議）

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
転入教職員研修会 4月1日（水）	場所 生涯学習センター 内容 (1) 辞令交付 (2) サービスの宣誓 野田小学校 佐藤 隆司 校長 (3) 教育長挨拶 (4) 職員の紹介 (5) 村長講話「野田村について」 (6) 村内視察研修	○辞令交付、村長講話のほか、村内視察を行い、転入職員が村に対する理解を深めることができた。
第1回野田村小中 連携教育推進会議 4月19日（月）	場所 野田村役場 内容 (1) 小中連携教育の推進について (2) 各校の学力向上取組の具体的構想について (3) 各校の教務運営計画について (4) 各校の研究計画について	○小中連携教育の重点を確認し、具体的な構想や計画を協議することができた。
第1回野田村生徒 指導連絡協議会 4月19日（月）	場所 野田村役場 内容 (1) 令和3年度事業計画について (2) 小・中・高等学校における年間指導計画、共通実践課題について (3) 小・中学校の生徒指導上の課題のある児童生徒の実態と支援について (4) 小・中学校の不応児童生徒の実態と支援について (5) 小・中学校のいじめの認知状況について	○今年度の事業計画を確認し、小・中・高での情報共有を図ることができた。

5月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
第1回社会科副読 本編集委員会 5月10日（月）	場所 総合センター 内容 (1) 社会科副読本構成検討・役割分担 (2) 令和4年度配布社会科副読本編集スケジュール確認	○新学習指導要領に対応した副読本となるよう、昨年度作成した補助資料を活用しながら改訂作業を進めることを確認した。

6月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>第1回野田村小中 連携教育研修会 6月3日（木）</p>	<p>場所 野田中学校 内容 (1) 授業参観 (2) 全体会（職員紹介） (3) 研究協議 (4) 助言</p>	<p>○1人1台端末を活用した授業について協議することで、活用の実際について考えることができた。 ●分散開催で2つの会場で授業と協議を行ったが、それぞれの内容を共有できなかった。</p>
<p>野田村中1連絡会 6月3日（木）</p>	<p>場所 野田中学校 内容 (1) あいさつ（中学校長） (2) 中1担任から (3) 小学校の先生から (4) 情報交流</p>	<p>○生活リズムが乱れそうな生徒、不登校傾向の生徒の家庭状況や対応について小学校から情報をもらい、中学校での指導方法についても共有することができた。</p>
<p>野田小学校建設基本 計画策定第1回 村民ワークショップ 6月5日（土）</p>	<p>場 所 野田小学校 内 容 (1) WS開催趣旨とこれまでの検討経緯 (2) ワークショップの進め方について (3) 野田小学校の見学 (4) ワーキング テーマ：野田小学校について語り合おう 参加者 11名</p>	<p>○現在の野田小学校を見学し、参加者が通学していた当時の思い出を共有することができた。 ○新しい野田小学校に伝えたい、残したいことについて意見交換をすることができた。</p>
<p>第1回野田村就学 指導委員会 6月15日（火）</p>	<p>場所 生涯学習センター 内容 (1) 教育長挨拶 (2) 委員長及び副委員長の決定 (3) 協議 ア 令和2年度事業報告について イ 令和3年度事業計画について ウ 教育措置の判定があった児童生徒の状況報告について</p>	<p>○支援が必要な児童生徒の現況について理解を深めることができた。</p>



7月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>第2回野田村生徒指導連絡協議会 7月5日（月）</p>	<p>場所 総合センター 内容 (1) 1学期の積極的生徒指導の実践事例について (2) 小・中・高等学校における共通実践課題（あいさつ・清掃）の取組状況について (3) 小・中学校の生徒指導上の課題（問題行動等）のある児童生徒の実態と支援について (4) 小・中学校の不応児児童生徒の実態と支援の経過について (5) 小・中学校のいじめの認知状況について (6) 夏季休業中の生徒指導について</p>	<p>○各校の問題行動の実態と支援、および不応児児童生徒の実態について、協議し共有することができた。 ○今年度も、夏休みの決まりを全戸配布し、地域で児童生徒を見守って行くことを確認した。</p>
<p>野田小学校建設基本計画策定第2回 村民ワークショップ 7月5日（月）</p>	<p>場 所 生涯学習センター 内 容 (1) 第1回ワークショップの振り返り (2) ワーキング テーマ：野田小学校との関わりについて考えよう 参加者 23名</p>	<p>○現在の野田小学校や子ども達との関わりなどを再確認しながら、今後の関わり方について意見交換をすることができた。</p>
<p>令和3年度保育所訪問 7月26日（月） 7月27日（火） 7月28日（水）</p>	<p>場所 玉川保育所 野田村保育所 日向保育所 内容 (1) 来年度就学予定児の生活の様子を参観 (2) 来年度就学予定児の情報交流</p>	<p>○特別に支援を要する幼児のみならず、来年度入学する幼児の様子を早期に把握することができた。</p>
<p>特別支援教育支援員研修会 7月29日（木）</p>	<p>場所 野田小学校 内容 (1) 講話 久慈拓陽支援学校 教諭兼指導主事 梅野 佳和 氏 (2) 意見交流</p>	<p>○特別支援教育支援員の支援方法について、具体的に指導していただくことができた。</p>
<p>英語でフィッシュ タコス親子料理教室 7月31日（土）</p>	<p>場 所 保健センター 講 師 A L T アユミ・シライシ 栄養教諭 刈屋 保子 参加者 3組（5年児童3名、保護者3名）</p>	<p>○新型コロナ感染対策を講じながら、親子で料理に親しむことができた。また、親子で英語を理解しようとする姿も見られた。</p>

8月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
野田小学校建設基本計画策定第3回 村民ワークショップ 8月4日（水）	場 所 生涯学習センター 内 容 (1) 第2回ワークショップの振り返り (2) ワーキング テーマ：みんなが利用できる野田小学校とするためには、どんな「しくみ」が必要？ 参加者 16名	○新しい野田小学校にどんな「しくみ」があったらみんなが利用できるかについて意見交換を行うことができた。
第2回就学指導委員会 8月26日（木）	場所 生涯学習センター 内容 (1) 委員長あいさつ (2) 協議 特別支援学級入級退級等に係る判別が必要と思われる児童生徒の調査結果及び今後の対応について	○対象児童生徒に対する適切な支援の在り方について協議が深められた。

9月事業報告分 無し

10月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
第2回野田村小中連携推進会議 10月7日（木）	場所 総合センター 内容 (1) 前期の各校の学力向上に向けた取組について (2) 各校の研究推進の状況について (3) 小中連携教育推進に係る実践について (4) 前期事業の振り返り (5) 標準学力検査の実施計画について	○前期の各校の学力向上に向けた取り組みについて及び、各校の研究推進の状況について情報共有することができた。 ○標準学力検査の実施について、その分析までの見とおしをもつことができた。

11月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
食育出前教室 (シイタケ学校給食) 11月17日（水）	場 所 野田小学校 内 容 (1) 校長先生あいさつ (2) シイタケの話 指導主事 田澤 英寿 氏 生産者 古舘 幹男 氏 (3) 献立の説明 (4) 給食試食 参加者 小野寺教育委員、指導主事	○乾燥シイタケの生産者の喜び、苦労など学習することができた。地域の農産物であるシイタケに関する理解と関心を高めるとともに、食に関する意識を高める良い機会となった。

12月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>第3回野田村生徒指導連絡協議会 12月1日（水）</p>	<p>場所 総合センター 内容 (1) 2学期の積極的生徒指導の実践事例 (2) 小・中・高等学校における共通実践課題（あいさつ・清掃）の取組状況 (3) 小・中学校の生徒指導上の課題（問題行動等）のある児童生徒の実態と支援 (4) 小・中学校の不応児児童生徒の実態と支援の経過 (5) 小・中学校のいじめの認知状況 (6) 冬季休業中の生徒指導 (7) 野田村内及び久慈管内における事件・事故等の状況</p>	<p>○積極的生徒指導の実践の交流をし、生徒指導上の課題について各校の配慮を要する児童生徒について共通理解を図ることができた。</p>
<p>野田村就学指導委員会第1回調査員会議 12月2日（木）</p>	<p>場所 総合センター 内容 教育支援案の確認について</p>	<p>○知能検査のテスター、調査員、助言者を交え、教育支援案の検討・調整を行うことができた。</p>
<p>第3回野田村就学指導委員会 12月3日（金）</p>	<p>場所 生涯学習センター 内容 (1) 委員長あいさつ (2) 協議 教育支援案の判定について</p>	<p>○就学に関わり、支援が必要な児童の教育支援案について意見をいただきながら、判定をすることができた。</p>
<p>第1回野田村総合教育会議 12月15日（水）</p>	<p>場所 野田村役場 内容 教育に関する重要施策の方向性について</p>	<p>○令和4年度における教育委員会主要事業について、村長と協議及び調整を行うことができた。</p>
<p>第7回野田小学校整備検討委員会 12月21日（火）</p>	<p>場 所 野田村役場 内 容 野田小学校建設基本計画（案）について 出席者 委員 21名中 18名出席</p>	<p>○野田小学校建設基本計画（案）について委員への説明を行い、計画の内容について意見交換を行うことができた。</p>

1月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>学習用タブレット 研修 1月12日（水）</p>	<p>場所 野田小学校 対象 野田小学校教員 内容 (1) タブレットの概要説明 (2) 授業支援クラウド(ロイロノート)の使い方について (3) 授業の実際</p>	<p>○実際に操作することによって、授業での活用場面を具体的に考えることができた。 ○実践授業の動画を視聴し、具体的な授業での活用の様子を理解することができた。</p>
<p>食育出前教室（ホウレンソウ） 1月19日（水）</p>	<p>場 所 野田小学校 内 容 (1) 校長先生あいさつ (2) ホウレンソウの話 農業改良普及センター 菊地 雄大 氏 (3) 献立の説明 (4) 給食試食</p>	<p>○地元で盛んに栽培されているホウレンソウを理解し、児童は積極的に食べようとする意欲をもつことができた。</p>
<p>食育出前教室（ワカメ） 1月26日（水）</p>	<p>場 所 野田小学校 内 容 (1) 校長先生あいさつ (2) ワカメの話 荒海団 橋場 一敏 氏 県北広域振興局水産部 小野寺 光文 氏 (3) 献立の説明 (4) 給食試食</p>	<p>○地元の生産物であるワカメの生態や生産者の思いなどを学ぶことができた。</p>
<p>第2回小中連携教育研修会 1月31日（月）</p>	<p>場所 野田小学校 内容 (1) 授業参観 5年道徳 山根 愛彦 教諭 6年道徳 佐藤 隆司 校長 (2) 全体会 (3) 協議 (4) 助言 中学校 勝部 孝行 校長</p>	<p>○3学期から使い始めたタブレットを用い、道徳の授業を行った。道徳とICT活用について考えることができた。 ○小・中学校で連携して取り組むことについても扱い、来年度から取り組むべき方向性を見出すことができた。</p>

2月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>第3回野田村小中連携教育推進会議 2月28日（月）</p>	<p>開催方法 書面開催（2/25 通知）</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和3年度野田村小中連携教育事業反省について</li> <li>(2) 各校の教育課程実施の重点に関わる成果と課題について</li> <li>(3) 各校の校内研究の成果と課題及び来年度構想について</li> <li>(4) 令和3年度標準学力検査の結果考察及び今年度の学力向上取組の成果と次年度への課題について</li> <li>(5) 令和4年度野田村小中連携教育推進計画について</li> <li>(6) 令和4年度教育課程編成上の留意点について</li> </ol>	<p>○今年度の各学校の取組の成果と課題及び次年度計画を紙面により共有できた。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、資料を配布し、書面開催とした。質問や意見はなかったが、協議して深めることができなかった。</p>

3月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>第4回野田村生徒指導連絡協議会 3月2日（水）</p>	<p>開催方法 書面開催（2/25 通知）</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各校における生徒指導年間反省について（生徒指導の現状と課題、共通実践課題「挨拶」「清掃」に係る成果と課題、積極的な生徒指導に係る反省など）</li> <li>(2) 小・中学校の生徒指導上の課題（問題行動等）のある児童生徒の実態と支援について</li> <li>(3) 小・中学校の不応児童生徒の実態と支援の経過について</li> <li>(4) 小・中学校のいじめの認知状況について</li> <li>(5) 年度末・年度始休業中の生徒指導について</li> <li>(6) その他 次年度生指連協議会計画について</li> </ol>	<p>○学年末・学年始休業中における生徒指導について留意すべき事項を共有することができた。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、資料を配布し、書面開催としたため、詳しい情報交換まで至らなかった。</p>

## 2 生涯学習文化行政の実施状況

令和3年度 生涯学習文化行政の成果と課題

4月事業報告分（教育委員会議）

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 過年度報告書作成	○試掘：民2件、公1件 （累計：民2件、公1件）
おやこえいがかい 4月25日（日）	場所 生涯学習センター 内容 こども読書週間に合わせて、幼児から小学生までの児童と保護者を対象に映画会を実施した。	○親子3組（未就学児6人、大人4人）の参加があり、次回開催への要望も寄せられた。

5月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 過年度報告書作成	○本調査：民0件、公1件 （累計：民2件、公2件）
野田村芸術文化協会 理事会 5月10日（月） 総会 5月18日（火）	場所 生涯学習センター 内容 (1) 令和2年度事業報告・収支決算 (2) 令和3年度事業計画・収支予算 (3) 役員改選	○芸術文化関係団体の自主的活動の促進や連携など図られた。
第1回放課後子ども 教室実行委員会 議 5月21日（金）	開催方法 書面開催（5月14日通知） 内容 (1) 令和3年度事業計画・収支予算 (2) 評価・検証方法について	○関係者が集まり年間計画・予算などについて協議の場となった。
第1回学校支援地 域本部事業会議 5月24日（月）	開催方法 書面開催（5月14日通知） 内容 (1) 令和3年度事業計画・収支予算 (2) 評価指標・目標の設定	○関係者が集まり年間計画・予算などについて協議の場となった。
第1回図書館協議 会委員会議 5月31日（月）	場所 生涯学習センター 内容 (1) 令和2年度事業報告 (2) 令和3年度事業計画	○図書館の管理運営について広く意見や助言等をいただいた。
放課後子ども教室 「キッズセンター」 5月17日（月） 5月20日（木） 5月27日（木） 5月31日（月）	場所 村体育館、総合センター 内容 体育館遊び、工作 参加児童数 延べ118人 講師数 なし	○初回オリエンテーションでは、1年生向けにキッズセンターのきまりを説明したが、約束ごとを1年生がしっかりと聞くことができていた。 ○工作では、ハサミやペンなど道具の貸し借りをきちんと声を掛け合い仲良く作ることができた。

6月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 過年度報告書作成	○試掘：民2件、公0件 （累計：民4件、公2件）
野田村芸術鑑賞会 6月1日（火）	場所 村体育館 内容 はなしの伝統芸能 「みんなで大笑い！東西寄席」	新型コロナウイルスの影響により中止
図書館蔵書点検 6月7日（月） ～6月11日（金）	場所 村立図書館 内容 蔵書 35,805冊（5月末）の点検	○収蔵書の整理・整とん、不明資料の調査を行い、利用者の利便性を高めた。
いきいきライフ のだ窯陶芸教室 6月11日（金）	場所 生涯学習センター 内容 手びねりにより作品づくりを行った 参加者 15人 講師 泉田 之也 氏	○講師の指導や説明がわかりやすく、楽しく和やかな雰囲気で作ることができた。
いきいきライフ 「ヨガ教室」 5月20日（木） ～6月24日（木） 全6回	場所 生涯学習センター 内容 毎週木曜、全6回、ヨガ教室の開催 参加者 延べ55人／申込10人	○回数を重ねるごとに講師や参加者同士のコミュニケーションが図られ和やかな雰囲気で進められた。
放課後子ども教室 「キッズセンター」 6月3日（木） 6月10日（木） 6月14日（月） 6月17日（木） 6月21日（月） 6月24日（木） 6月28日（月）	場所 総合センター、村体育館、保健センター、玉川児童館 内容 踊り、体育館遊び、絵手紙、料理 参加児童数 延べ137人 講師数 延べ16人	○踊りでは、初めて参加する1年生が講師の前できちんと自己紹介することができた。 ○聖火リレーの横断幕づくりでは、作成を楽しみにたくさんのお子さんが参加してくれた。

7月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 過年度報告書作成	○本調査：民0件、公1件 （累計：民4件、公3件）
野田村教育振興会 総会 7月16日（金）	開催方法 書面開催（7月7日通知） 内容 (1) 令和3年度教育振興会事業 (2) 役員改選	○書面会議にて、事業計画等について、原案のとおり承認された。
野田村校外指導連絡会 総会 7月14日（水）	開催方法 書面開催（7月7日通知） 内容 (1) 令和2年度事業報告・収支決算 (2) 令和3年度事業計画・収支予算	○書面会議にて、事業報告・収支決算、事業計画・収支予算案について、原案のとおり承認された。



放課後子ども教室 「キッズセンター」 7月1日(木) 7月5日(月) 7月8日(木) 7月12日(月) 7月15日(木) 7月26日(月)	場所 総合センター、生涯学習センターほか 内容 踊り、絵本、絵手紙、体育館遊びほか 参加児童数 延べ117人 講師数 延べ10人	○映画会のDVD鑑賞では、手話に触れるきっかけとなり、とても良い作品だと感じた。 ○工作では、紙コップのけん玉を作ったところ、簡単に作ることができ好評で、絵を描いたりマスキングテープを貼ったり装飾を楽しんでいた。
--	---	---

#### 8月事業報告分

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 過年度報告書作成	○試掘：民0件、公2件 (累計：民4件、公5件)
GO!GO!デイキャンプ(野田村悠YOUスポーツクラブ共催事業) 8月3日(火)	場所 アジアの広場、日形井公民館 内容 山川探検、火おこし体験、自由遊び 講師 1人 参加児童数 12人	○講師の指導の下、サワガニやヤゴ、トビゲラ、ヘビトンボなど多くの水辺に生息する生き物を観察し、充実した活動となった。
放課後子ども教室 「キッズセンター」 8月2日(月) 8月26日(木) 8月30日(月)	場所 のんちゃん広場、総合センター 内容 元気じいちゃん、工作 参加児童数 延べ70人 講師数 延べ4人	○工作では、貝殻を使ったリース型の壁掛けを作ったが、色鮮やかな作品が出来上がり村の文化祭に展示することとした。

#### 9月事業報告分

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 過年度報告書作成	○試掘：民1件、公1件 (累計：民5件、公6件)
第57回野田村総合文化祭第1回実行委員会議 9月21日(火)	開催方法 書面開催(9/7通知) 内容 (1) 公演部門(10/31)の中止を決定した。 (2) 展示部門(11/6・7)を村体育館で開催予定とした。 ・実行委員29団体	○公演部門を中止とし、展示部門を希望する団体から出展してもらい開催する方向とし、各団体への周知や調整が図られた。
放課後子ども教室 「キッズセンター」 9月6日(月) 9月9日(木) 9月13日(月) 9月16日(木) 9月27日(月) 9月30日(木)	場所 玉川児童館、総合センター 内容 踊り、工作、絵手紙	新型コロナウイルスの影響により中止

10 月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 過年度報告書作成	○試掘：民1件、公0件 ○本調査：民1件、公0件 (累計：民7件、公6件)
第1回社会教育委員会議 10月26日（火）	場所 総合センター 内容 令和3年度事業実施状況（上半期）について	○生涯学習文化事業について、広く意見や助言等をいただいた。
第57回野田村総合文化祭 公演部門 10月31日（日）	場所 村体育館 内容 村芸術文化協会加盟団体、保育所、小学校合奏団、中学校等ステージ発表	新型コロナウイルスの影響により中止
放課後子ども教室「キッズセンター」 10月4日（月） 10月7日（木） 10月11日（月） 10月14日（木） 10月21日（木） 10月25日（月） 10月29日（金）	場所 総合センター、保健センター、生涯学習センター 内容 工作、踊り、絵手紙、料理、絵本 参加児童数 延べ96人 講師数 延べ18人	○絵手紙では、色の濃淡のつけ方をマンツーマンで指導してもらい、完成した作品は村の文化祭に出展予定とした。 ○料理にチャレンジでは、班ごとに手分けしながら協力して調理する様子が見られた。

11 月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
第57回野田村総合文化祭 展示部門 11月6日（土） 11月7日（日）	場所 村体育館 内容 絵画、書、写真、手工芸、生け花、木工、陶芸や文芸などの手作り作品の展示を行った。	○1,530点の作品展示があり、32の団体・個人から出展があった。
放課後子ども教室「キッズセンター」 11月4日（木） 11月8日（月） 11月15日（月） 11月18日（木） 11月25日（木） 11月29日（月）	場所 総合センター、のんちゃん広場、村体育館、玉川児童館 内容 踊り、竹馬遊び、体育館遊び、工作、絵本など 参加児童数 延べ79人 講師数 延べ12人	○工作では、押し花のしおり作りで、子ども達がもっと作りたいと大人気だった。 ○竹馬の練習会では、30分程度で数人の児童が少し乗れるようになっていた。

12 月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 過年度報告書作成	○試掘：民0件、公1件 (累計：民7件、公7件)

いきいきライフ ふるさと再発見の ださんぽ 12月8日(水)	場所 アジア民族造形館、魚の番屋、のだ塩 工房など 内容 村内の見どころ見学と散策など 参加者 13人	○魚の番屋では、ほとんどの 方が初めての見学となり、館 長さんの説明を受け感銘して いた様子だった。
いきいきライフ 親子で作る苔玉の お正月アレンジ 12月18日(土)	場所 生涯学習センター 内容 親子で苔玉の正月飾りを製作 参加者 11組25人	○苔玉を丸くまとめる作業な どは2人でやった方が効率よ く、親子で協力して和気あい あいと製作する様子が見られ 親子触れ合いの場となった。
放課後子ども教室 「キッズセンター」 12月2日(木) 12月6日(月) 12月9日(木) 12月13日(月) 12月16日(木) 12月17日(金) 12月21日(火)	場所 総合センター、保健センター、生涯学 習センター 内容 踊り、元気じいちゃん、料理、茶道、 絵手紙、英語 参加児童数 延べ134人 講師数 延べ26人	○元気じいちゃんでは、手作 りの凧をていねいに教えても らいながら、全員が完成させ ることができた。 ○茶道では、講師の説明をよ く聞いて返事をするなど、落 ち着いて活動することがで きた。

#### 1月事業報告分

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 過年度報告書作成	○試掘：民1件、公1件 (累計：民8件、公8件)
第70回野田村成人 式 1月9日(日)	場所 村体育館 内容 野田村成人式(式典、記念行事) 出席者 140人(うち新成人28人)	○新成人28人が事前にPCR 検査し、全員の陰性を確認の うえ安全な成人式に努めた。 ○野田中創作太鼓のオープ ニングは来場者へ感動を与え た。
放課後子ども教室 「キッズセンター」 1月12日(水) 1月14日(金) 1月15日(土) 1月27日(木) 1月31日(月)	場所 総合センター、生涯学習センター 内容 踊り、元気じいちゃん、工作 参加児童数 延べ66人 講師数 延べ23人	○踊りでは、小正月行事での 発表に向けどの児童も集中し て取り組んでいた。 ○小正月行事では、沢山の児 童が昔遊びを楽しみに参加し てくれた。

#### 2月事業報告分

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
第35回野田村読書 感想文等コンク ール2次審査 2月2日(水) ～3日(木)	場所 総合センターほか 内容 コンクール2次審査(審査員10名)	○応募総数41点、入選作品数 31点、各部門とも複数名によ る審査を終えることができ た。

野田村生涯学習大会 2月11日（金）	場所 生涯学習センター 内容 (1) 表彰 (2) 講演	新型コロナウイルスの影響により中止
放課後子ども教室「キッズセンター」 2月3日（木） 2月10日（木） 2月17日（木）	場所 生涯学習センター、総合センター 内容 POP作り、DVD鑑賞、ろうそく作り 参加児童数 延べ34人 講師数 なし	○お気に入りの本のPOP作りは、どの児童も喜んで本を探していた。 ○ろうそく作りでは、きれいなろうそくが完成し持ち帰ることをとても喜んでいました。

### 3月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
埋蔵文化財調査 通年	場所 村内一円 内容 過年度報告書作成	○試掘：民1件、公0件 （累計：民9件、公8件）
図書館企画展 「読書感想文等コンクール入賞作品展示会」 2月19日（土） ～3月1日（火）	場所 村立図書館 内容 第35回読書感想文等コンクールの入賞作品31点の展示を行った。	○作品の展示により、入賞者の栄誉を称えるとともに図書館来場者への読書活動の推進を図った。
図書館企画展 「県内図書館連携企画展」 3月14日（月） ～3月31日（木）	場所 村立図書館 内容 「かけがえのないあなたへ ～みんなちがってみんないい～」 こころの健康づくり週間に合わせた関連資料100点の展示。	○県内図書館と連携して、自殺対策強化月間に合わせた医療・健康情報の提供サービスの一環となった。
第2回放課後子ども教室実行委員会 3月7日（月）	開催方法 書面開催（2月24日通知） 内容 (1) 令和3年度事業報告・収支決算 (2) 評価検証について	○アンケート結果をもって評価検証を行った。
第2回学校支援地域本部事業会議 3月7日（月）	開催方法 書面開催（2月25日通知） 内容 (1) 令和3年度事業報告・収支決算 (2) 評価検証について	○アンケート結果をもって評価検証を行った。

<p>文化財調査委員会 議 3月16日（水）</p>	<p>場所 総合センター 内容 米田浜津波堆積物地層の野田村指定文化財の指定について等 出席者 委員6人、教育長、事務局、東北大学</p>	<p>○村指定文化財等の現況を視察したほか、野田村指定文化財の新規指定など協議の場となった。</p>
<p>第2回社会教育委員会 議 3月28日（月）</p>	<p>開催方法 書面開催（3/16通知） 内容 (1) 令和3年度事業報告 (2) 令和4年度事業計画 (3) 令和4年度からの村成人式について</p>	<p>○生涯学習事業等について広く意見や助言等をいただいた。</p>
<p>第2回図書館協議会 委員会 議 3月30日（水）</p>	<p>開催方法 書面開催（3/22通知） 内容 (1) 令和3年度事業報告 (2) 令和4年度事業計画</p>	<p>○図書館の管理運営について広く意見や助言等をいただいた。</p>

### 3 生涯スポーツ行政の実施状況

令和3年度 生涯スポーツ行政の成果と課題

4月事業報告分（教育委員会議）

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
聖火リレー市町村 責任者説明会 4月9日（金）	開催方法 オンライン形式 内 容 聖火リレー運営について	○聖火リレー運営上の留意事項や今後の動きについて、県担当者から説明・情報共有を受けた。
野田村文化スポーツプロジェクト実行委員会総会 4月9日（金）	開催方法 書面開催（4/9通知） 内 容 (1) 令和2年度事業実績及び収支決算について (2) 令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 出席者 委員16名	○書面形式で総会を開催。事業報告・収支決算、事業計画・予算について、原案どおり承認された。
令和3年度市町村生涯スポーツ等担当者会議 4月27日（火）	開催方法 オンライン形式 内 容 令和3年度スポーツ関連主要事業について	○県や県の委託団体の事業計画の説明があった。関係団体との今後の事業連携の参考になった。
e-スポ広場 4月1日（木） 8日（木） 15日（木） 22日（木）	場 所 村体育館 内 容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ59人	○e-スポ広場で運動習慣の定着の手助けになった。

5月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
第34回野田村民体育大会 「第35回壮年ソフトボール大会」 5月中旬	場 所 山村広場	新型コロナウイルスの影響により中止
スポーツ推進委員会議 5月25日（火）	場 所 役場2階 第1委員会室 内 容 (1) 委嘱状交付 (2) R3年度事業計画について (3) オリンピック聖火リレーについて	○今年度事業計画について共有したほか、推進委員自主事業の内容について協議した。また、オリンピック聖火リレーの従事内容について説明した。

e-スポ広場 5月6日(木) 13日(木) 20日(木) 27日(木)	場 所 村体育館 内 容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ54人	○e-スポ広場で体を動かすことで、健康寿命の延伸や体や心の健康に貢献できた。
---	--	--

### 6月事業報告分

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
のだキッズセンター連携 「聖火リレー横断幕をつくろう！」 6月10日(木)	場 所 総合センター 老人休養室 参加者 野田小2～6年生 33人	○学年ごとに分かれて、聖火リレーを応援する横断幕を作成。村内での聖火リレーについて楽しく学びながら、制作することができた。
東京2020オリンピック聖火リレー 6月16日(水)	場 所 ほたてんぼうだい～役場前 ※ 十府ヶ浦公園遊歩道・旭町本町線等のコース 内 容 観客 約800人 聖火ランナー 10名	○村消防団や久慈工業高校、ボランティア等、各方面から多大な協力のもと、事故や怪我無く安全に聖火をつなぐことができた。 ○新型コロナウイルス感染予防の観点から積極的な周知は行わなかったものの、沿道や最終地点で地域の方が応援や観覧している様子であった。
第39回岩手日報杯三陸海岸学童マクドナルドカップ兼第35回岩手県学童もりしんカップ九戸郡予選 6月26日(土) 6月27日(日)	場 所 ライジング・サン・スタジアム 内 容 野田村1チーム、洋野町4チーム 優 勝：野田フェニックス 準優勝：角浜ファイターズスポ少	○新型コロナウイルス対策として、大きな声での応援や鳴り物は禁止とし、各チーム遵守していた。
e-スポ広場 6月3日(木) 6月10日(木) 6月17日(木) 6月24日(木)	場 所 村体育館 内 容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ41人	○ニュースポーツで頭と体の運動に役立てることができた。



## 7月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
第34回野田村民体育大会 「第32回8地区対抗野球大会」 7月上旬	場 所 ライジング・サン・スタジアム	新型コロナウイルスの影響により中止
第22回久慈地区中学校駅伝競走大会兼第36回岩手県中学校駅伝競走大会予選会 7月29日（木）	場 所 十府ヶ浦公園ほか 内 容 女子13チーム、男子16チーム参加 優勝 女子 種市中学校 男子 長内中学校A	○音響設備を設置したことで、選手の招集等の場面で効果的だった。 ○駐車場係を設けたことで、限られたスペースで効率よく駐車場を活用できた。
台湾理解・PR事業（応援メッセージ動画撮影・作成・発信） 7月下旬～8月上旬	場 所 ほたてんぼうだい他 出演者 関本会長、のんちゃんS'、ルーキーズ、野崎颯太・大沢緋美華	○台湾を応援するホストタウンが連携して制作する動画に参加した。 また、台湾陸上協会にお世話になった生徒2人が、陸上協会のFacebookに直接応援メッセージを送り、台湾TVに出るなど話題となった。
e-スポ広場 7月1日（木） 7月8日（木） 7月15日（木） 7月29日（木）	場 所 村体育館 内 容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ46人	○参加者の健康状態を聞きながら、無理のない範囲で運動させることができた。

## 8月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
悠YOUスポーツクラブ 「小学生水泳教室」 8月5日（木） 8月6日（金）	場 所 村民プール 内 容 水泳に関する技能・知識の習得の場とし、水泳に親しみ、健康・体力の維持増進を図る。 参加者 5日：18名、6日：17名	○新型コロナウイルス対策を徹底して事業を実施できた。 ○参加者と講師が休憩時間に和気あいあいと交流する様子が見られた。

<p>パラリンピック復興の火事業（東京2020パラリンピック聖火フェスティバル）</p> <p>8月11日（水）～ 8月16日（月）</p>	<p>内 容</p> <p>(1) 種火採火（ほたてんぼうだい） 令和2年度新成人：米田一輝 三上壺京 参加 夢灯かりからランタンへ火をともし、「のだ復興の火」の種火とした。</p> <p>(2) 採火式及び展示（村民ホール） 野田村身体障害者協議会 会長 泉沢勝教 採火式では泉沢会長がランタンへ採火し、「のだ復興の火」を灯した。 その後、村民ホールで村民向けに展示公開した。</p>	<p>○新型コロナウイルス対策として観客を集めず実施したが、新聞社から記事として取り上げられ、メディアと通して発信できた。</p> <p>○聖火を村民ホールに展示したことにより、来庁者が足を止め、写真撮影をする姿が見られ、パラリンピック大会の機運醸成に貢献できた。</p> <p>○震災後整備された施設での種火採火や、新成人の協力、夢灯かりの活用など、「復興の火」として、支援への感謝や未来への希望を表現できた。</p>
<p>東京2020パラリンピック聖火フェスティバル岩手県内集火・出立式</p> <p>8月16日（月）</p>	<p>場 所 イオンモール盛岡</p> <p>参加者 野田村身体障害者協議会 泉沢会長 スポーツ班</p> <p>内 容 県内33市町村の火をひとつに集め（集火）岩手県の火とし、東京のパラリンピック会場へ出立するための式典に参加した。</p>	<p>○集火された火は、8月20日（金）に東京都で行われた集火式に、東日本大震災犠牲者への追悼と復興への思いを込めた「岩手県の火」として届けられた。</p>
<p>中華台北パラリンピック委員会応援旗贈呈式（オンライン）</p> <p>8月18日（水）</p>	<p>場 所 台湾台北市</p> <p>内 容</p> <p>(1) 内閣官房 統括官あいさつ (2) ホストタウン八王子市・高松市・愛媛県メッセージ (3) 応援旗贈呈 (4) 記念写真</p>	<p>○台湾のパラリンピック委員会に対して、ホストタウン活動の写真をまとめた応援旗を贈呈し、大変喜んでいただいた。</p> <p>○オブザーバーとして野田村もオンラインで参加し、応援していることを伝えられた。</p>
<p>e-スポ広場</p> <p>8月5日（木） 8月12日（木） 8月19日（木） 8月26日（木）</p>	<p>場 所 村体育館</p> <p>内 容 準備運動、ニュースポーツ等</p> <p>参加者 延べ47人</p>	<p>○水分補給を促し、熱中症に注意して、無理のない範囲で活動することができた。</p>

9月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
台湾パラリンピック共同応援（オンライン） 9月1日（水）	場 所 総合センター 内 容 バドミントン男子シングルス「方振宇（ファンジェンユー）選手（台湾）対今井大湧選手（日本）」のオンライン観戦・応援	○内閣官房オリパラ事務局主導のもと、パラリンピック大会・男子バドミントン競技の試合に出場する台湾選手を、共同で観戦・応援する企画に参加した。
台湾オリンピック卓球選手とのオンライン交流 9月11日（土）	場 所 総合センター 内 容 卓球混合ダブルスで銅メダルを獲得した鄭怡静（チェンイーチン）選手とのオンライン交流	○同じ台湾ホストタウンである大槌町が行うオンライン交流に参加。村からは台湾への感謝と、野田村に訪れてもらえるようメッセージを伝えた。
復興ありがとうホストタウン連絡協議会 第4回総会（オンライン） 9月14日（火）	場 所 役場応接室 出席者 村長、スポーツ班 内 容 (1) 会長・副会長の選任 (2) 協議会の取組について (3) 東京大会後の取組について	○丸川担当大臣より「東京2020オリンピック理念のなかの『復興・発信』に向けた、各自治体の尽力に感謝する。今回築かれた絆を未来につないでいてもらいたい」との言葉があった。
悠YOUスポーツクラブ事業 「野田村てくてくフォトウォーク」 9月26日（日）	場 所 村内 共 催 野田村トレイル振興会	新型コロナウイルスの影響により中止
e-スポ広場 9月2日（木） 9月9日（木） 9月16日（木） 9月30日（木）	場 所 村体育館 内 容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ47人	○基本的な感染対策を徹底して実施。 ○新しいメニューとしてボッチャを取り入れ、楽しく活動することができた。

10月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
岩手県野球協会長 旗争奪第20回学童 新人大会兼第19回 東北学童軟式野球 新人大会 九戸郡予選 10月2日（土） 10月3日（日）	場 所 ライジング・サン・スタジアム 内 容 野田村1チーム、洋野町4チーム 優 勝：洋野ベースボールクラブ 準優勝：野田フェニックス	○競技終了後、参加チームから整地や外野ネット片付けの協力をいただき、スムーズに大会を終えることができた。
第34回野田村民体 育大会 「第66回野田村民 大運動会（野田村 スポーツフェステ ィバル）」 10月10日（日）	場 所 十府ヶ浦公園	新型コロナウイルスの影響により中止
ホストタウン オリパラ終了後意 見交換会 （オンライン） 10月27日（水）	場 所 総合センター 出席者 文化スポーツプロジェクト 実行委員会 関本会長 生涯スポーツ班	○関本会長より、これまでの活動と今後の展望を発表。台湾側参加者より「感動した。これからも交流を続けたい」とのコメントを頂いた。
e-スポ広場 10月7日（木） 10月14日（木） 10月21日（木） 10月28日（木）	場 所 村体育館 内 容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ47人	○基本的な感染対策を徹底して実施。 ○参加者が健康で楽しく体を動かす場を提供できた。

11 月事業報告分

事業名	実施状況	成果 (○) と課題 (●)
<p>令和3年度野田村 スポーツ少年団本 部長杯野球新人大 会 (第31回) 11月6日 (土)</p>	<p>場 所 ライジング・サン・スタジアム 内 容 野田フェニックス 久喜黒潮スポーツ少年団 田野畑スピリッツ BBC 北竜・普代・大川目連合 参加 優勝：野田フェニックス 最優秀選手賞：南川結雅 選手 (野田フェニックス 5年生) 敢 闘 賞：前川藍志 選手 (北竜・普代・大川目連合 5年生)</p>	<p>○個人賞を設けることで、 選手の競技に対するやる気 や向上心の増進に意義があ った。 ○新型コロナウイルス対策 として、試合時間制限を設 けることで、試合間隔を十 分にとって進行することが できた。</p>
<p>野田村民体育大会 運営委員会 11月10日 (水)</p>	<p>場 所 総合センター 出席者 教育長、次長、生涯スポーツ班 委員 14名 内 容 (1) 第34回野田村民体育大会の実施結果 について (2) 第35回野田村民体育大会の事業計画 (案) について</p>	<p>○近年、人が集まらず棄権 したり、人集めに苦慮して いる声があり、地区割を8 地区から4地区に変更し た。 ○来年度の村民大運動会 (スポーツフェスティバル) の概要を示した。</p>
<p>野田村スポーツ推 進委員自主事業 「パークゴルフ教 室 in 十府ヶ浦公 園」 11月21日 (日)</p>	<p>場 所 十府ヶ浦公園 パークゴルフコース 参加者 村スポーツ少年団員 29名 内 容 子供たちに多岐にわたるスポーツ体 験の機会を与えるとともに、各単位 スポーツ少年団の交流を目的に開催 した。</p>	<p>○想定よりも多くの方に参 加いただき、盛況だった。 ○普段とは違うスポーツに 触れる機会となったり、ス ポーツ少年団交流の場とす ることができた。</p>
<p>悠YOUスポーツク ラブ事業 「ボルダリング教 室」 11月27日 (土)</p>	<p>場 所 クライミングジム ノースロック (青森県階上町) 参加者 親子 17名 内 容 「ボルダリング」という新たなスポ ーツを体験し、基礎的な技術を習得 するとともに、スポーツを通じた世 代間交流を図る。</p>	<p>○講師の指導のもと、本格 的なボルダリングやロープ クライミングを体験するこ とができた。 ○親が興味を持ち参加した ケースもあり、親子をター ゲットにした教室の需要が 発見できた。</p>

e-スポ広場 11月11日(木) 11月18日(木) 11月25日(木)	場 所 村体育館 内 容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ41人	○寒さが厳しい季節になり、転倒事故に一層の注意を払って活動できた。
---	--	-----------------------------------

12月事業報告分


事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
第35回野田村民体育大会 「第7回野田村長杯スポーツ吹矢大会」 12月22日(水)	場 所 村体育館 対 象 小学生以上 参加者 48人(7チーム)	○吹き矢協会の進行のもとスムーズに大会を終えることができた。 ○新型コロナウイルス対策として消毒を徹底して実施できた。
野田村文化スポーツプロジェクト実行委員会事業 「台湾向け映像制作」(現場取材) 12月25日(土) 12月26日(日)	場 所 かまどのつきや、十府ヶ浦海岸、野田焼(工房・ギャラリー)、のだ塩工房、苔屋ほか	○台湾向け映像制作のための現場取材を行い、特産品、郷土食、焼き物を取材してもらった。 ○26日は、天候も良く絶景の十府ヶ浦海岸や、日本国内外に出展販売している野田焼の良さを映像に収めることができた。
e-スポ広場 12月2日(木) 12月9日(木) 12月16日(木) 12月23日(木)	場 所 村体育館 内 容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ54人	○寒い時期でも運動習慣が途切れないよう、楽しく体を動かし健康維持に努めることができた。

1月事業報告分

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
悠YOUスポーツクラブ事業 「スケート教室」 1月11日(火)	場 所 県北青少年の家 参加者 小学生14名	○新型コロナウイルスの影響により、久しぶりのウィンタースポーツ事業となったが、参加者は体験する楽しさや上達する喜びを感じている様子であった。 ●昼食の用意が必要なのか、保護者の同伴が必要なのか分かりにくいチラシの表記となっていたため、改善が必要。

第 35 回野田村民体育大会 「第 17 回どこでもテニポン大会」 1 月 30 日（日）	場 所 村体育館	新型コロナウイルスの影響により延期。その後中止とした。
e-スポ広場 1 月 13 日（木） 1 月 20 日（木） 1 月 27 日（木）	場 所 村体育館 内 容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ 30 人	○年明け初めての e-スポ広場では、久しぶりの運動で怪我をしないよう、軽めの運動を心がけた。

## 2 月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
第 26 回野田村長杯 中学校バレーボール大会 2 月 5 日（土）	場 所 村体育館	新型コロナウイルスの影響により中止
台湾理解・PR 事業 「第 10 回台北国際 動漫節出展」 2 月 10 日（木）～ 2 月 14 日（月）	場 所 台北市 内 容 (1) パネル展示 (2) メッセージフラッグ (3) パンフレット、クリアファイルの配布 (4) ステージやブースでの PR (5) 野田村 PR 動画放映  「動画」 2 次元バーコード	○令和元年度から 3 年連続で参加しているイベントであり、台湾との繋がりだけでなくホストタウン同士の繋がりを保つ良い機会になった。 ○現地からの報告では、来場者数はコロナ前の水準に戻り、熱心に観覧する来場者が多かったとのことから、PR 効果は十分だった。
第 35 回野田村民体育大会 「第 14 回地区交流ソフトバレー大会」 2 月 13 日（日）	場 所 村体育館	新型コロナウイルスの影響により延期。その後中止とした。

<p>悠YOUスポーツクラブ事業 「スキー・スノーボード教室」 2月19日（土）</p>	<p>場 所 奥中山高原スキー場</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により中止</p>
<p>静岡市・大崎町(鹿兒島)・野田村 横軸連携事業 「台湾陸上協会とのオンラインクリニック」 2月20日（日）</p>	<p>場 所 生涯学習センター 出席者 関本会長、南川副会長 小田孝一(のんちゃん' S) 橋場優成( 〃 ) 関本誠丈( 〃 )</p> <p>内 容 (1) 文化講座 各市町村と台湾陸上協会から、正月料理や郷土の特色ある料理を紹介。 (2) 陸上クリニック 台湾陸上協会の陳傑（チェン・ジェ）選手と楊俊瀚（ヤン・ジュンハン）選手より、事前に送信していた練習ビデオをもとに、参加者各々にアドバイスする。</p>	<p>○台湾のトップ選手から、走る姿勢や調整方法などに関し、直接アドバイスを受けられる貴重な機会となった。 ○台湾との交流に加え、台湾と交流のある市町村同士の連携として有意義な事業であった。 ○新型コロナウイルス終息後のオフラインでの交流事業に繋がる機会となった。</p>
<p>e-スポ広場 2月3日（木） 2月10日（木） 2月17日（木） 2月21日（木）</p>	<p>場 所 村体育館 内 容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ22人</p>	<p>○新しいメニューを提供することで、参加者の脳の活性化に寄与することができた。</p>

### 3月事業報告分

事業名	実施状況	成果（○）と課題（●）
<p>2025大阪・関西万博に向けた ホストタウンセミナー（オンライン） 3月2日（水）</p>	<p>場 所 総合センター 内 容 2025年大阪万博へ向けたホストタウンの取り組みについて</p>	<p>○ホストタウンとしての万博への参加方法や、実際の取り組み事例について情報提供された。</p>



<p>野田村スポーツ推進委員会議 3月17日(木)</p>	<p>開催方法 書面開催(3/17 発送) 内 容 (1) 令和3年度スポーツ推進委員 活動状況について (2) 令和3年度生涯スポーツ行政 の成果と課題について</p>	<p>○活動報告内容を振り返り、実績を共有できた。</p>
<p>e-スポ広場 3月3日(木) 3月10日(木) 3月17日(木) 3月24日(木) 3月31日(木)</p>	<p>場 所 村体育館 内 容 準備運動、ニュースポーツ等 参加者 延べ62人</p>	<p>○参加者が e-スポ広場を毎週楽しみにしている様子で、今年度も継続して運動機会を提供することができた。</p>